講義概要／Course description

科目基礎情報／Course information

開講元学部／Faculty	共通／COMMON
開講元学科／Department	全学共通／GENERAL STUDIES
登録コード／Registration Code	GSE72070
期間／Period	2018年度／Academic Year　秋学期／AUTUMN
学期／Semester	秋学期／AUTUMN
曜限／Period	月／Mon　3
科目名／Course title	グローバル化と人権／GLOBALIZATION AND HUMAN RIGHTS
授業形態／Course Type	講義 ／Lecture
科目ナンバリング／Course Numbering	GCR313
レベル／Level	300
教員表示名	上野　俊彦
主担当教員名／Instructor	上野　俊彦／UENO TOSHIHIKO
単位数／Credits	2
更新日／Date of renewal	2018/02/28

講義概要情報／Course description

講義概要 ／Course description	国際社会に貢献しうる人材となることを目指す学生にとって必要な、人権概念および国際人権法に関連する知識、ならびにグローバル化と人権をめぐる個別具体的な諸問題等について学びます。 授業は、講義、レポート作成、グループディスカッション、報告により構成されています。 グループディスカッションは、講義に関連した事例を調査してレポートを作成し、そのレポートに基づいて行います。 グループディスカッション後に各グループの代表による報告を行い、各グループのディスカッションの内容を全体で共有します。 グループディスカッションのために準備したレポートは、ディスカッション後に提出していただきます。
到達目標（授業の目標） ／Course objectives	人権概念、国際人権法、現代社会における人権およびグローバル化と人権をめぐる諸問題等についての基礎的知識の習得を通じて、グローバル化した現代社会において、とりわけ現代社会における諸組織のメンバーおよびリーダーとして、活動していく際に必要な人権認識を獲得する。
授業時間外（予習・復習等）の学習 ／Expected work outside of class	本シラバスで紹介されている参考文献等を事前に読んでおくとともに、講義で紹介された資料・記事・参考文献等を適宜読むことによって、講義の理解をいっそう深めることが望まれます。各回所要時間:3時間。
他学部・他研究科受講可否 ／Other departments' students	可／Yes ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合 ／Evaluation	出席状況／Attendance （20.0%） 授業参加／Class participation （20.0%） レポート／Report （60.0%）
参考書1／Readings1	著者名／Authors　:芹田健太郎・薬師寺公夫・坂元茂樹 書名／Title　:『ブリッジブック　国際人権法』（第2版） 出版社・出版年／Publisher.Year　:信山社、2017年
参考書2／Readings2	著者名／Authors　:エリン・エラン・チャン 書名／Title　:『在日外国人と市民権』 出版社・出版年／Publisher.Year　:明石書店、2012年

参考書3／Readings3	著者名／Authors　：田辺俊介編著 書名／Title　：『外国人へのまなざしと政治意識』 出版社・出版年／Publisher.Year　：勁草書房、2011年
講義概要HP URL ／URL of syllabus or other information	http://www.geocities.jp/collegelife9354/lecture.html

講義スケジュール／Schedule	
授業計画／Class schedule	1. イントロダクション／人権の基礎概念(1) ※以下は予定であり、授業の進捗状況により各テーマの回数は変更することがあります。
	2. 人権の基礎概念(2)
	3. 人種差別
	4. 女性差別
	5. グループディスカッションと報告(1)
	6. 子どもの権利
	7. 障がい者
	8. グループディスカッションと報告(2)
	9. 難民
	10. 移住労働者
	11. グループディスカッションと報告(3)
	12. 日本の人権状況(1)
	13. 日本の人権状況(2)
	14. グループディスカッションと報告(4)
	15. グループディスカッションとレポートの作成